

山田武左衛門の漂流日記と

しよっこうのにしき

「蜀江錦」

参加費無料

こばやし かおる

■ 講師: 小林 郁

2024年2月24日(土) 14:00~16:00

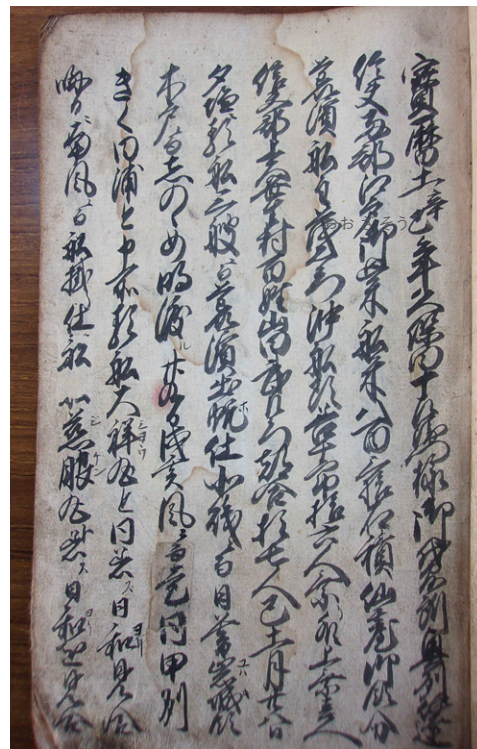
Zoomにて開催 (ルームオープン 13:30)

陸奥船福吉丸は宝暦11年(1761年)に遭難し、清国(中国)長江の河口に漂着。漂流民は翌年、清国船で長崎に送還された。福吉丸の上乗武左衛門(1712~1792)は、漂流・清国旅行中に日記を書いていた。この日記の写本は二本現存するが、内容はかなり異なる。どのような点が違うのかを分析したい。

また、武左衛門が信仰していた塩竈神社(福島県福島市大笹生)には、彼が奉納した「蜀江錦」と盃が今も伝えられている。「蜀江錦」は、江戸後期の地誌『信達一統志』にも記された由緒ある品。神社関係者の御厚意により、これらを実見する機会を得たので報告する。



武左衛門が奉納した「蜀江錦」と盃(大笹生塩竈神社蔵)



「上乗武左衛門日記」(大笹生塩竈神社蔵)

■ 小林 郁 (こばやし かおる) 日本海事史学会会員
1964年生まれ。東京都東村山市在住。
江戸から明治初期に漂流を体験した人々に関心があり、その生涯を調べるため各地を巡っている。

- 関心をお持ちの方ならどなたでもご参加いただけます。
メールでお申し込みください。
※希望者多数の場合は抽選とさせていただきます。
お申込みいただいた方には2月21日(水)までにご連絡いたします。
- 会員にはメールでご案内をお送りしています。
メールが届いていない方は、右の申込先までお問合せください。

■ 申込〆切: 2024年2月20日(火) 正午(12:00)

■ 申込先: kaijishi.web@gmail.com (担当: 大野)

メールの件名を「日本海事史学会 Web 例会申し込み(非会員)」として、本文にはお名前をお書きください。

[今後の例会 開催予定日: 3月30日(土)]

日本海事史学会は、海事一般に関する歴史・法律・民俗・水産・考古・船舶・航海・海運など、海事史だけにとどまらずひろく海の人文学、社会科学等あらゆる分野に関心を持つ学界や在野の研究者の方々との交流をはかる総合研究の“場”です。

【主な活動】専門学術誌『海事史研究』の発行(年1回) / 総会(年1回)・例会(8月と総会開催月を除く年10回) など

